

PRESS RELEASE

世界 31 カ国における人材の需給効率調査

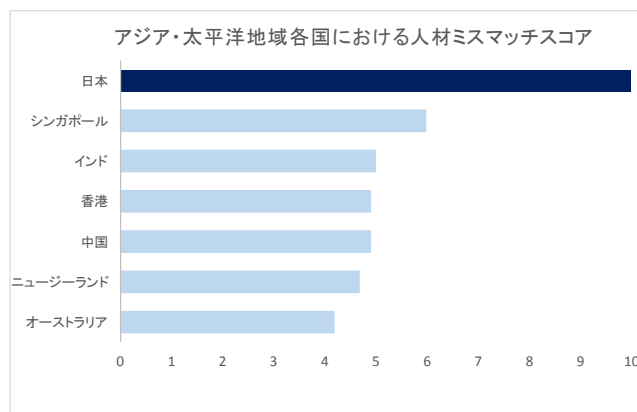
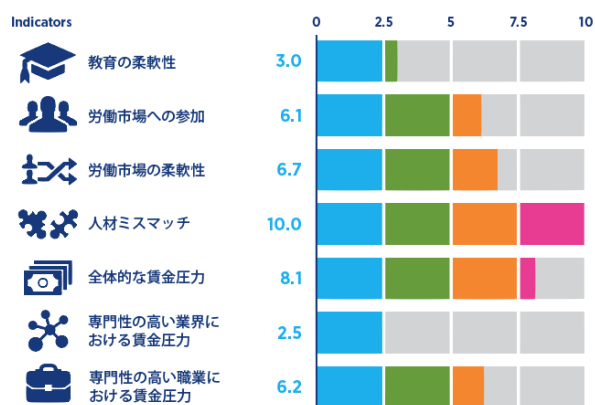
「人材ミスマッチ」2 年連続悪化、日本は「アジア・太平洋地域で最も人材が探しにくい国」

【2015 年 11 月 12 日】 外資系人材紹介会社ヘイズ・リクルートメント・ジャパン株式会社（本社：港区、マネージング・ディレクター：マーク・ブラジ、以下ヘイズ・ジャパン）は、この度、世界 31 カ国の労働市場における人材の需給効率を評価・分析した調査研究「グローバル・スキル・インデックス」を発表いたします。

【主な調査結果】

- 日本における人材の需要と供給のミスマッチは 2 年連続で悪化し、2015 年の調査では最高値である 10.0 を記録。アジア・太平洋地域では最も「人材が探しにくい国」という結果。
- 「労働市場の柔軟性」は改善が見られるものの依然として柔軟ではないことを示す数値。
- 「労働市場への参加」は安倍政権下で労働改革が推進されている一方で、改善していない。

各指標の数値



2015 年の調査結果によると、日本では、企業が求めているスキルと、実際に求職者が持っているスキルが大きく離れている事が浮き彫りになりました。この為、長期間にわたって転職活動をしている求職者がいる一方で、企業側は求めるスキルを持つ人材に巡り合えず、長期間にわたってポジションに空きがある状況が多く見られます。

日本では、データサイエンティストや、デジタルマーケティングのスキルを持つマーケティング担当者、FP&A と呼ばれる経営や高いファイナンスの知識を持った財務・経理のスペシャリストなどについて、募集が多い一方で人材の確保が難しい状況が続いています。

【グローバル・スキル・インデックスについて】

英ヘイズが英オックスフォード・エコノミクスと共同で 2012 年から継続的に行っている調査研究。

労働市場に関する、7つの項目「教育の柔軟性」「労働への参加」「労働市場の柔軟性」「人材のミスマッチ」「全体的な賃金圧力」「専門性の高い業界における賃金圧力」「専門性の高い職業における賃金圧力」について 0 から 10 までの数値で指標化し、人材の需要と供給の状況を評価・分析したもの。労働市場の均衡が最適な状態を 5.0 とし、0 に近づくほど人材の確保が容易、10 に近づくほど人材の確保が困難である事を示す。

ヘイズは、専門性の高いプロフェッショナルを対象に人材紹介サービスを提供しているリクルートメントのグローバル・エキスパートです。

以上

ヘイズについて

ヘイズ（本社：英国）は、グローバルな人材サービスを提供するスペシャリストの人材紹介会社です。2015 年 6 月現在、世界 33 カ国*、240 の拠点（総従業員 9,023 人超）において、20 の専門分野に特化したハイスキル人材サービスを提供しています。（*日本、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、中国、チェコ共和国、デンマーク、フランス、ドイツ、香港、ハンガリー、インド、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ポーランド、ポルトガル、ロシア、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ）

ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社（ヘイズ・ジャパン）について

ヘイズの日本法人として 2001 年に東京で設立されたヘイズ・ジャパンは、日本で唯一、4 つの国内拠点（日本本社、新宿支店、大阪支店、横浜支店）を有する外資系人材紹介会社です。13 の専門分野（経理・財務、金融、ファイナステクノロジー、人事、IT、保険、法務、ライフサイエンス、オフィスプロフェッショナル、不動産、セールス・マーケティング、サプライチェーン、マニュファクチャリング）に精通した経験豊富なコンサルタントが、「正社員紹介」「契約・派遣社員」「採用アウトソーシング（RPO）」「IT ソリューションズ（業務委託）」の 4 つのサービスを提供し、企業の人材採用と個人のキャリアアップを支援しています。

報道関係者からのお問合せ:

ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社 広報担当

野呂ゆうき 03 3560 1529/ 090 5537 0408 hays-pr@hays.co.jp